

## 【 コラム 】

### ロボットスーツを使ったトレーニング

県では国から「みえライフイノベーション総合特区」の指定を受け、県内各地域に研究開発支援拠点 MieLIP (Mie Life Innovation Promotion Center) が設置・運営され、地域の特性を生かした産業や画期的な医薬品、医療機器等の創出に向けた支援をしており、これら拠点の活用などにより三重県がライフイノベーションに寄与する地域になることをめざしています。

MieLIP 鈴鹿が設置されている鈴鹿医療科学大学では、白子キャンパス内にある「鈴鹿ロボケアセンター」との連携のもと、ロボットスーツ<sup>ハル</sup>HAL®を活用したロボットリハビリテーションの効果の検証とより効果的な方法の開発や医療機器や周辺機器等の研究開発の取組を行っています。



写真は、ロボットスーツ HAL®を使ったトレーニングの様子です。HAL®とは、人が体を動かそうとする際に脳から出る電気信号を読み取って、動作の支援をしてくれるロボットスーツのことで、国内約 160 施設で福祉用約 370 台が導入され、欧州を中心に医療用 100 台以上が活躍しています。鈴鹿ロボケアセンターは、脳血管障害や脊髄損傷などで足に障がいのある方や脚力の弱くなった方が、HAL®を使ってトレーニングを行うための施設として、平成 25 年 9 月にオープンしました。現在、鈴鹿市からは下肢・体幹機能障害 1～3 級の市民の方を対象に、トレーニング費用の一部助成を行っており、多くの方々が利用されています。

※ライフイノベーションとは、医療・健康・福祉分野で、新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、革新的な医薬品、医療機器等の研究開発や製品開発を促進するもので、関連企業の活性化、企業立地の促進、雇用の拡大など、地域経済の活性化をめざしています。

※<sup>ハル</sup>HAL®とは、Hybrid Assistive Limb の略です。